



化学コミュニケーション賞 2019 表彰式 第 13 回日本化学連合シンポジウム

日時 2020年3月6日(金) 12:45~17:50

会場 化学会館7階 ホール(東京都千代田区神田駿河台1-5 JR 御茶ノ水駅(御茶ノ水橋口改札)より徒歩5分)

(会場へのアクセスは、<http://www.chemistry.or.jp/access/index.html>をご覧ください)

主催 (一社) 日本化学連合

共催 (株) 化学工業日報社、(一社) 化学情報協会、(一社) 日本サイエンスコミュニケーション協会

後援 (国研) 科学技術振興機構、(公社) 新化学技術推進協会

<12:40~12:45> 開会挨拶 岩澤 康裕 (日本化学連合会長)

<12:45~13:45> 第1部 化学コミュニケーション賞 2019 表彰式

司会 関根 泰 (日本化学連合理事)

<12:45~12:55> 選考委員長挨拶・選考結果説明

吉江 尚子 (日本化学連合副会長・化学コミュニケーション賞選考委員長)

<12:55~13:05> 授与式

<13:05~13:45> 業績紹介

化学コミュニケーション賞 2019 (団体)

「元素および元素周期表の普及における貢献」

元素周期表同好会

化学コミュニケーション賞 2019 (団体)

「身近な材料で化学を体感する」

トクヤマ化楽くらぶ

化学コミュニケーション賞 2019 (個人)

「元素、原子、電子の児童、生徒 への啓発活動」

岡山理科大学 坂根弦太

化学コミュニケーション賞 2019 審査員特別賞 (団体)

「学生による化学コミュニケーションへの貢献」

東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST

<13:45~14:00> 休憩

<14:00~17:45> 第2部 第13回日本化学連合シンポジウム「AI、IoT 活用による実験のスマート化」

<趣旨>産官学共に研究者に課せられる補助的な業務は増加の一途をたどっています。そのような中で化学研究力を向上させるためには、最新の情報技術を用いた研究の効率化が不可欠です。本シンポジウムでは、「化学実験」に焦点を絞り、大学や産官研究所の研究者をサポートする技術について講演いただき、将来の実験室像について議論致します。

<14:00~14:05> シンポジウム趣旨説明 長谷部 伸治(日本化学連合副会長・企画委員会委員長)

<14:05~14:40>

1)「実験データの電子化とその活用」

ダッソー・システムズ(株) 菅谷 信敬

<14:40~15:15>

2)「大学において電子実験ノートをいかに利用するか」

早稲田大学 山口 潤一郎

<15:15~15:50>

3)「有機合成化学者が欲しいデータベースとは」

京都大学 松原 誠二郎

<15:50~16:00>

休憩

<16:00~16:35>

4)「AI・ロボット技術を活用した新化学の展開」

横浜薬科大学 高橋 孝志

<16:35~17:10>

5)「スモールデータの壁を乗り越えるための MI 技術」

統計数理研究所 吉田 亮

<17:10~17:45>

6) 総合討論

「研究室内での実験データの蓄積・有効利用・・・AI、IoT 技術を用いた実験の効率化」

<17:40~17:45> 閉会の挨拶

黒田 一幸 (日本化学連合副会長)

<18:00~19:30> 交流会

「トラットリア レモン」 <http://trattorialemon.jp/>

- 表彰式の参加費は無料ですが、事前参加登録が必要です。
- シンポジウムの参加費(講演資料集代)は 3,000 円で、事前の参加登録・銀行振込が必要です(当日の参加申込・支払いは 1,000 円増しになります)。
- 交流会の参加費は 5,000 円で、事前の参加登録・銀行振込が必要です(当日の参加申込・支払いは 1,000 円増しになります)。
- 参加申込方法: 当連合のホームページの参加申し込みフォームを用いて、氏名, 所属学協会, 勤務先と職名(学生は学校名と学年), 連絡先(メールアドレス), 化学コミュニケーション賞表彰式・シンポジウム・交流会参加の有無などを明記し, 3 月 1 日(金)までに Web にてお申込みください。なお、定員になり次第、締め切ります。
- 問い合わせ先: 一般社団法人日本化学連合 事務局 URL: <http://www.jucst.org>
E-mail: secretariat@jucst.org 電話: 03-3292-6010